令和４年度第２回茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会会議録

議題	１　令和４年度鶴嶺公民館事業報告について ２　令和５年度鶴嶺公民館予算（案）について ３　令和５年度鶴嶺公民館事業計画（案）について ４　諮問について ５　その他
日時	令和５年３月２２日（水）午後１時３０分～３時
場所	茅ヶ崎市立鶴嶺公民館２階学習室２
出席者氏名	会　長　岩壁　榮 副会長　岡野　一郎 委　員　金井　秀子 田中　節夫 堀内　秀行 山本　和男 渡辺　孝 事務局　担当課長　三井　優子、主任　三谷　恭子
会議資料	１　次第 ２　資料 資料１　令和４年度　鶴嶺公民館主催事業実施状況 資料２－１　令和５年度歳入予算内訳表 資料２－２　令和５年度歳出予算内訳表 資料３　令和５年度　鶴嶺公民館主催事業実施計画（案） 資料４－１　茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会に対する諮問について 資料４－２　茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会への諮問に係る答申作成スケジュール（案）
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	０人

（事務局）
それでは、これより、令和４年度　第２回鶴嶺公民館運営審議会を開催いたします。
この審議会は、公開となっておりますが、本日の傍聴はありません。
本日の資料を確認させていただきます。
～資料の確認～
それでは、この後の議事進行につきましては、岩壁会長にお願いいたします。

（岩壁会長）
委員の皆様、お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。
議事を進める前に、会議録の作成方法についてご説明いたします。この会議は公開となっています。会議録を作成するにあたり、会議録の内容について委員に確認し、その旨を記録として残す対応となります。会議録の内容確認は、会長に一任でよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

それでは議題に入ります。議題１について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）
それでは、議題１「令和４年度鶴嶺公民館事業報告について」事務局よりご説明いたします。
資料１をご覧ください。令和４年度は、令和２・３年度に比べ、事業を実施することができました。
子ども事業について、鶴嶺公民館単独として５事業、５館連携事業として２事業行いました。「里山謎解き大冒険」は県立茅ケ崎里山公園で、オリエンテーリングの形式で行った事業です。「新博物館でわくわく★ドキ土器」は、昨年の７月３０日にオープンした博物館に子どもたちを連れて行き、博物館職員に案内してもらいました。鶴嶺公民館単独の事業でも「子どもの広場」で、博物館に子どもたちを連れていき、バックヤードツアーを行いました。
家庭教育支援関連事業について、鶴嶺公民館単独として４事業、５館連携事業として１事業、市長部局と共催で１事業行いました。「子育ての広場カルガモ」は、乳幼児のお子さんをもつ親御さん同士の交流の場を提供しました。「日本の伝統文化　和菓子（練り切り）を作ろう」では、子育て世代の応援事業として、和菓子作りの体験を行いました。「スマイリングままサロン」は１歳未満のお子さんをお持ちになる親御さんを対象にした

産後体操をZoomで行いましたが、１０月は中止となりました。

シニア事業について、鶴嶺公民館単独として４事業、５館連携事業として２事業、市長部局と共催で１事業行いました。「遊々クラブ」は、散策や体験を通して、高齢者に外出や趣味を持っていただく機会として行いました。「スマホ入門教室」は、ＫＤＤＩの方に、スマホの使い方を教えていただきました。「かんたんZoomの使い方講座」の基礎編と応用編は、コロナ禍で普及したＺｏｏｍに対するニーズがあることから、レベルを基礎と応用に分けて実施しました。

博物館連携事業について、１事業行いました。「小出川植物標本づくり」は博物館の学芸員が講師となり、鶴嶺公民館の側を流れる小出川で植物を採取し、標本づくりを学びました。出来上がった標本は、博物館の交流スペースに展示しました。

地域課題解決等事業について、鶴嶺公民館単独として１６事業、市長部局と共催で１事業行いました。「onlineで世界を知ろうAfternoon Tea」は、ペルー出身の方にペルーのことをお話ししていただきました。Afternoon Teaというタイトルのとおり、ペルーのお菓子と飲み物をいただきながら、お話を聞き、交流を深めました。「親子で防災つるみね」は、市防災対策課の職員に、自然災害への備えや対応を学び、親子で災害時へのイメージを持ってもらい話し合うワークショップを行いました。「鎌倉歴史散策」「神奈川散策」は、大河ドラマ「鎌倉殿の１３人」の放送を受けて、そのゆかりの地を歩きました。「つるみね健康レストラン」は、市保健所の管理栄養士による食と健康の話の後、茅ヶ崎市食生活改善推進団体の方にお節料理の作り方を、地域の方たちにしめ飾りの作り方を教えていただきました。また、「七宝入門」や「陶芸教室」など普段あまりできない体験をする機会を設けました。「卓球開放」は卓球サークルにご協力いただき、事業を行いました。

学習成果活用・学習情報提供事業について、「公民館まつり」は、３月４日・５日に４年ぶりに開催しました。２日間に短縮し、模擬店等がありませんでしたが、特別企画の鶴嶺歴史講座や子どもの体験コーナーに想定以上の方に参加していただきました。「公民館ウィーク」は、過去にイオン等の商業施設でワークショップを行っていましたが、コロナ禍ということで、市役所１階の市民ふれあいプラザでパネル展示とチラシの配架を行いました。「つるみねミュージックイン」は、コロナ前はサマーコンサートとニューイヤーコンサートの年２回開催していましたが、ニューイヤーコンサートを開催しました。開催についてミュージックインスタッフと協議した結果、集客は行わず、出演者がお互いの発表を聞き合う形式で発表を行いました。開催方法に関しては、様々なご意見いただきましたので、次年度の検討時の参考にしたいと考えております。「つるみねオープンサークル」は、公民館で活動をしているサークルのご協力を得て開催するものです。令和４年度は、鶴嶺てんこく会の協力のもと、てんこく印を作る講座と、年賀状に使う消しゴムはんこを

作る講座を実施しました。「古典文学講座」は、源氏物語の研究されている先生にご講演いただきました。「ロビー展」は、展示の申し出を随時受け付けているものです。６月～８月は、市都市政策課が鶴嶺小学校で行った「こころのバリアフリー」の授業の成果発表です。１０月～１２月は、鶴嶺公民館で活動をしている絵画やてんこくのサークルが展示を行いました。２月は、鶴嶺小学校５年５組が授業で行ったウクライナの文化についての発表が行われました。３月～４月は、６月同様、鶴嶺小学校のこころのバリアフリーの展示が行われる予定です。

公民館利用者活動支援事業について、「利用者懇談会」の活動がありました。コロナ禍で初めての開催ということで、感染対策のため利用者懇談会内にある４つのグループ毎に分けて、５月２８日・２９日に開催しました。６月１１日と１０月８日は公民館の敷地内の草取り、１２月１０日は、大掃除をしていただきました。９月と１月は、第２回・第３回の利用者懇談会を行いました。

次世代ネットワーク事業について、「職場体験」の申し入れはありませんでした。

公民館運営審議会等について、審議会と研修会等の実績を記載しております。

主催事業は、対面だけではなく、Ｚｏｏｍだけ、対面とＺｏｏｍの併用という開催方法で行いました。コロナの感染状況が落ち着いてきたところですが、Wi-Fiを整備したところもありますので、公民館に来館しなくても公民館事業に参加できる方法は続けていきたいと考えています。以上です。

（岩壁会長）

ありがとうございました。ご意見、ご質問はございますか。

（田中委員）

５館連携事業について、５館が同じテーマで募集を行う場合、館ごとに募集する定員は決められているのですか。

（事務局）

館ごとの定員は定めず、市内全体から募集をしていました。

（田中委員）

公民館で募集ですか。

（事務局）

５館連携事業は、全館で申込受付をするのではなく、どこか１館が申込受付を担当して

いました。子ども事業では、会場が公民館外であったこともあり、市内全域から応募がありました。家庭教育支援関連事業とシニア事業では、公民館を順番に会場としていたので、会場となる公民館がある地域の方の応募が割と多かったです。

（田中委員）
制限なしで、市内から募集したということですか。

（事務局）
そうです。

（田中委員）
公民館を会場とすると人数制限が出てしまいますが、外での開催は人数制限がないのでしょうか。

（事務局）
外で開催するものも、安全面から、定員を設けています。

（岩壁会長）
５館連携事業は、市の広報を使ったPRが多いのでしょうか。

（事務局）
市の広報紙やメール配信を使ったPRを行いました。普段公民館に来られない方の応募もありました。また、いくつかの事業はタウンニュースに掲載していただきました。

（岩壁会長）
わかりました。他にありますか。
私から一点、次世代ネットワーク事業の「インターンシップ受け入れ」について「依頼なし」と書いてありますが、依頼があった場合、どんなことを行うのでしょうか。

（事務局）
コロナ前に公民館が受け入れていた時は、市職員課が学生を募集し、各部署で受け入れる一環で、公民館で受け入れていました。主催事業の運営や、利用者支援などを行ってもらいました。

（岩壁委員）
わかりました。他にありますか。

（岡野委員）
公民館利用者活動支援事業の「公民館利用者団体」というのは、どういう団体か教えてください。

（事務局）
鶴嶺公民館を活動場所として登録している団体のことを指します。

（岡野委員）
いくつくらい団体はあるのですか。

（事務局）
定期的に活動をしているのが９０団体です。登録自体はもっとあります。

（岩壁会長）
実働しているのが９０ですか。結構多いですね。

（田中委員）
他の公民館はもっと多いです。ここのところ高齢化が進んでいるようで少なくなってきています。

（岡野委員）
わかりました。ありがとうございます。

（岩壁会長）
その他、ご意見等がなければ、次の議題へ移ります。議題２について事務局より説明をお願いします。

（事務局）
それでは議題２「令和５年度鶴嶺公民館予算（案）について」事務局よりご説明いたします。資料は２－１及び２－２です。
まず、資料２－１の歳入からご説明いたします。令和４年と令和５年を比較すると、

５，２１９，０００円増となっています。こちらの主な要因は、款２２市債です。こちらは、来年度に予防保全の工事の予定が入っております。内容としては、経年劣化した防災設備と弱電設備の改修です。その工事費について、市債を発行するので、歳入に予算がついております。

これ以外は、令和４年度と大体同じです。

款１７財産収入に関しては、公民館入口にある自動販売機を設置している貸付収入です。

款２１諸収入については、公民館の利用団体が作成する資料や会報を印刷する際の利用料で、見込みの金額で予算をつけています。また、自動販売機の電気料も見込みで予算をつけています。

資料２－２の歳出についてご説明します。

０１０－０１公民館運営審議会委員経費について、令和５年度は２００，０００円の予算となっております。令和４年度は審議会を２回開催しましたが、２年目は諮問に対する答申の作成のため、３回の開催を予定していることから、増額となっています。

０２０－０１業務管理経費について、こちらの増額要因は、会計年度任用職員の報酬と通信運搬費です。通信運搬費は、Wi-Fiを整備したため、光回線の使用料とプロバイダの利用料のため増額となっています。

０３０－０１施設維持管理経費について、光熱水費の高騰を受け、増額で要求しています。

０３０－０２予防保全事業費について、先ほど歳入のところでご説明したとおり、工事を行いますので、その予算として、５，６６８，０００円要求しています。現時点では、３月議会でこの予算案が承認されたら、６月頃に入札を行い、実際の工事は１１月に行われる予定です。工事中は、１～２週間休館する予定です。

０４０－０１公民館活動費について、主催事業の講師謝礼や消耗品、公民館まつりの委託料を、令和４年度と同額要求しています。

０５０－０１新型コロナウイルス感染症対策事業費について、感染対策に必要なアルコールや消毒など消耗品として要求しています。

令和５年度の鶴嶺公民館の予算は、１９，７８０，０００円で、令和４年度当初と比較して６，５９７，０００円増というところになります。説明は以上です。

（岩壁会長）

ありがとうございました。ご意見、ご質問はございますか。

前年度と違う点は、工事費用が５，６６８，０００円計上されたことですね。その他、ご意見等がなければ、次の議題へ移ります。議題３について事務局より説明をお願いしま

す。

（事務局）
　それでは議題３「令和５年度鶴嶺公民館事業計画（案）について」事務局よりご説明いたします。資料３をご覧ください。
　令和５年度は、令和３・４年度に実施してきた５館連携のチーム制はとらない方針となりましたが、様々な事業において５館で連携していくことは継続します。
　令和５年度は令和４年度をベースに計画していますが、今年度、花王株式会社の系列会社から、社会貢献の一環で講座を開催していただけるというお話をいただきました。公民館単独としても花王さんとの講座を何件か開催しますが、Wi-Fiが整備されましたので、５館連携事業としても行います。連携事業では、１つの公民館をメイン会場とし、残りの４公民館をＺｏｏｍでつないでサテライト会場にして開催します。
　また、地域課題解決等事業で「岡崎市との連携事業」を行います。茅ヶ崎市と岡崎市がゆかりのまち提携を結んで４０周年になることを受け、茅ヶ崎市としても、担当の男女共同参画課（令和５年度から多様性社会推進課）を中心に様々な事業を実施する予定です。現在、公民館としても、岡崎市と事業を通して文化交流できるものがないか連絡を取って検討しているところです。以上です。

（岩壁会長）
　ありがとうございました。ご意見、ご質問はございますか。

（岡野委員）
　「岡崎市との連携事業」ですが、岡崎市とはどういう点でゆかりがあるのか教えてください。

（事務局）
　大岡忠相の関係でゆかりがあります。そのつながりで、４月に行われる大岡越前祭で、例年岡崎市の副市長などがパレードに参加されています。

（岩壁会長）
　茅ヶ崎市から岡崎市へお神輿を持って行って、岡崎市のお祭りで練り歩いたりしたこともあるようです。

（事務局）
　今年度は、岡崎市の子どもたちが茅ヶ崎市に来て、スポーツを通じた交流や博物館への訪問などを行ったようです。

（岩壁会長）
　他にございますか。

（田中委員）
　防災設備の改修とありますが、防災設備とは、どこを指しているのですか。

（事務局）
　内容としては、誘導灯・非常灯のLED化、と拡声設備の交換・増設、非常放送と連動している火災報知器・感知器の交換、ベルの撤去等を行う予定です。

（岩壁会長）
　公民館は全部の照明がLED化されていないのですか。

（事務局）
　できていません。蛍光管の製造が終了するという話もありますので、今後のためにもLED化を進めていく必要はあります。

（岩壁会長）
　結構な費用がかかるのでしょうか。

（事務局）
　令和５年度の予算要求をする前に、予防保全の観点で照会があり、LED化について要望を出しましたが、要望を出した施設はすべて見送りとなりました。

（岩壁会長）
　学校含め市内の公共施設全体が対象なのでしょう。公民館だけの問題ではなく、市全体で考えていく事項でしょうね。
　それでは次に移ります。議題４について事務局から説明をお願いします。

（事務局）

議題４「諮問について」ご説明いたします。資料４をご覧ください。公民館運営審議会の設置の目的として、館長の諮問に対して答申を出していただきます。令和５年度末に答申を提出していただきたいと思っております。諮問するのは、「公民館をあまり利用していない人たちに、公民館を知ってもらい、公民館に足を運び、公民館活動に参加してもらうために必要な方策等について」です。公民館を利用される年齢層が、高齢者が多く、また、小さいお子さんをお持ちの親御さんや小学生は、事業への参加はありますが、その間の年代の方たちはサークル活動や公民館事業の参加が少ないと感じています。公民館も開館して４０年が経ち、公民館という言葉が出てきて歴史がそれなりに続いてきた中で、家族構成や生活の環境の変化があったり、コロナ禍に入ったりなど、社会が大きく変わっていきました。「集う」・「学ぶ」・「結ぶ」という交流の場であり、学習の機会の提供の場である公民館が、そういった年齢の方たちにも利用してもらえるようなところにならないと存続が難しくなるのではないかと感じています。委員の皆さんに、そういった人たちに公民館に来てもらうために必要なことは何か、ご意見をいただきたく、諮問のテーマといたしました。

答申を作成するスケジュール案は、資料４－２をご覧ください。また、前回提出された答申をお渡ししていますのでご参考ください。以上です。

（岩壁会長）

ありがとうございました。来年度１年かけて答申を作成します。テーマについて、館長から説明がありました。「公民館活動に参加してもらうために必要な方策」を各委員が考えて、それを一つのものにまとめるということでしょうか。

（事務局）

はい。

（岩壁会長）

私は、審議会の委員となって公民館に携わってきましたが、これまで公民館というのは、名前はよく知っていても、事業内容が今ひとつわかりませんでした。しかし先日の公民館まつりに参加しましたが、参加してみて初めて色んなことを知ることができるなと思いました。広報の仕方や、みなさんが興味を抱くようなテーマ設定など、様々な方策があると思いますが、来年度の審議会は３回開催しますので、その際、意見交換をしながら、一つのものとして、答申をまとめていきたいと思います。何かご意見ありますでしょうか。

（金井委員）

私も、先日の公民館まつりに参加して初めて、普段のサークル活動を知りました。まずは公民館まつりみたいなものが一つ知るきっかけとなり、「こういうことをやってみたい」となると思います。そういうきっかけづくりを、コロナが明けたら何回か開くと良いのではないかと思います。以前鶴嶺中学校に勤めていた時に、演劇部の顧問をしていました。演劇部の生徒と、鶴嶺公民館で公募していただいた小学生から社会人までが一緒に、一つの劇を作って、公民館まつりで披露したことがあります。大勢の方に観ていただいて、これがきっかけで参加した小学生が中学に入った時に、演劇部に入部してくれたこともありました。例えば学校の部活動に声をかけて、定期的に公民館で活動をすることで、子どもたちが「公民館にこういう場所がある」を知ってもらうことがきっかけになっていくと思います。中学生も公民館で活動するということがあると、活動の幅が出てくるのではないかと思います。やはり社会人は、平日はなかなか時間がないので、仕事後の夜や、土日にしか参加できないので、時間的制約があり、厳しいところもあるとは思います。

（岩壁会長）

鶴嶺中学校の演劇部は、鶴嶺東コミュニティセンターでも活動をしていたことがありました。鶴嶺東地区社会福祉協議会のサロンでは、鶴嶺中学校の演劇部がお年寄りと一緒に歌を歌ったり、劇を披露したり、ということをされていました。しばらくコロナの影響でサロンを開催していませんでしたが、ようやく再開しました。ただ、以前のように食事をとったりすることは行っていません。コロナが落ち着いてきたら、もっと中学生を巻き込むこともできるのではないかと思います。やはり色んな世代を巻き込んで、世代間交流が必要なのかなと思います。

（金井委員）

子どもたちにとっても良い機会となっていて、老人ホームなどに行くときにも、文化発表会や演劇発表会、コンクールでの発表とは違い、どういう劇だと喜んでいただけるかと考えます。それも、彼らにとってはバリエーションの広がりになります。もし子どもたちが公民館に劇を観にきてもらうとしたら、おそらく人形劇をつくると思います。台本をわかりやすい言葉に作り直すなど、公民館がそういう活動の基地になってほしいですね。

（堀内委員）

前回の答申を見ると、答申案を検討する場を、審議会とは別に設けたのでしょうか。

（事務局）
　そうです。審議会とは別の日にみなさんにお集まりいただきました。

（堀内委員）
　審議会の会議は公開で、会議録を作られますよね。前回の答申作成のために設けられた検討会議というのは非公開だったのでしょうか。

（事務局）
　検討会を開催するということは公開していません。委員の皆さんが、時間が足りないということで検討会を開催されてました。

（岩壁会長）
　答申をまとめるために、自発的に集まって作業をしたということでしょうか。

（事務局）
　そうです。

（岩壁会長）
　前回の答申を見ると、定例的な会議の中でまとめるというのは時間が足りなかったのではないかという感じがします。今回も秋以降になるとは思いますが、それまでに各委員の皆さんには自分の中でアイディアをまとめていただいて、集まりがあった時にそれを出し合ってまとめていきましょう。

（堀内委員）
　自分の意見をまとめる前の段階で、一回自由な意見交換する場を設けたらいいと思います。先生のようにいろいろ経験されていたら、それなりに自分の意見があるようなに思いますが、委員には色々な立場の人がいるので、一度そういった自由な話し合いの場を設けてはいかがでしょうか。

（岩壁会長）
　予定では令和５年７月に第１回公民館運営審議会がありますので、その会議後に、自由な話し合いの場を設けましょうか。

（堀内委員）
　そうですね。

（岩壁会長）
　公民館の職員も含め、一緒に意見交換をしていければと思います。それでも時間が足りないようでしたら、別途考えましょう。

（岡野委員）
　コロナ前を含めて、これまでの答申を参考にほしいです。

（岩壁会長）
　参考になるような資料がありましたら、各委員に送ってください。他にご意見ありますでしょうか。
　それでは以上をもちまして、会議は終了させていただきます。御協力ありがとうございました。